

指導のねらい

全体を見通し必要な事柄を明確にして事柄の相互の関係を整理して話したり、自分の考えと比べながら聞いたりするために、資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりできるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

- B ④ 一 作戦カードを基に、ボールを渡す順番を整理する。 正答率86.2%
- B ④ 二 作戦カードを基に、チームの攻め方を説明する。 ア 正答率57.5%
- イ 正答率62.2%

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

ア 考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

〔第1学年及び第2学年〕 言語事項

(1)エ 文及び文章の構成に関する事項

㍿ 文の中における主語と述語との関係に注意すること。

授業アイデア例

必要な事柄を整理し、資料を提示しながら説明したり、助言や提案をしたりする

- 「町の図書館における本の借り方や返し方を説明する」(例)を課題として設定する。
 - 課題について、実際に町の図書館に出掛けたり、図書館利用の手引などの情報を収集したりして調べる。
 - 全校児童に町の図書館における本の借り方や返し方が明確に伝わるように話の構成を考える。
 - 話の構成に合わせて、適切な資料を選択したり、作成したりする。
- (例)○ 図書館の中の様子が分かる見取図(写真、絵)
- 本を借りたり、返したりするときに必要なもの(実物) など
- 準備した資料を使って、本の借り方や返し方について説明する内容を発表原稿に書く。
 - 発表原稿の中で、本の借り方や返し方の流れや注意する事項などを短い言葉にして、資料(例)の【本の借り方】及び【本の返し方】のカードの①・②・③に書く。
 - 資料(例)の【図書館の中の様子が分かる見取図】と上記のカードの内容とを関係付け、黒板などに一枚一枚添付しながら説明する。
 - 聞き手は、自分の説明の仕方と比べて、下記のポイントを参考に助言や提案をする。

資料(例)：本の借り方・返し方

【図書館の中の様子が分かる見取図】



見取図と下のカード【本の借り方】及び【本の返し方】の①・②・③とを関係付けて説明する

【本の借り方】

① …

② …

③ …

【本の返し方】

① …

② …

③ …

〔初めて本を借りるときの注意〕
準備するもの：ア…、イ…

内容面

- 課題(本の借り方・返し方)の解決
- 必要な内容を明確にした説明
- 話の全体構成の工夫
- 話す内容と資料との整合性 など

音声面

- 発表原稿や資料への目配りの仕方
- 相手の表情や反応などへの配慮
- 間の取り方(資料提示のタイミング)
- 声量や速度 など